
ビジョン2020がもたらしたものの

竹内 比呂也

千葉大学副学長， 附属図書館長， アカデミック・リンク・センター長，
大学院人文科学研究院教授

Always Aim Higher



CHIBA UNIVERSITY

もともとは「ビジョン」ではなかった

なぜこのようなものが必要だと考えたのか？

- これまでのモデル：学術審議会答申「今後における学術情報システムの在り方について」（1980.1）→「学術情報システム」
- 法人化後の国立大学の変化
 - 群としての大学図書館のまとめり vs 個々の大学において、その目標達成に資する一要素としての図書館
 - 大学図書館予算の仕組み
- 大学図書館を取り巻く環境の変化（技術，制度）
- 大学図書館に対する新たな期待：学習支援，オープンサイエンス

☆国立大学図書館関係者なら皆「そういうものだ」と思っていたことを改めて共有する必要性→大学図書館の本質的な役割とこれからの方向性を協会及び各会員館が（再）確認

なぜ「2020」なのか？

- 「第4期中期目標・計画」に向けた、計画策定などとうまくすり合わせができるタイミングを見計らった
 - 各大学図書館で第3期中に達成できたこと、あるいは達成できなかったことを2020年度に総括し、それを2022年度からの第4期中期目標・計画に反映できるようにすることを狙っていた

←大学ごとに大学のミッションや中期目標等に沿うようにビジョンの重点領域、目標を戦略的に選択して、アクションプランを通じてその達成をはかる

基本理念

大学図書館は、今日の社会における知識基盤
(知の支え)として、記録媒体の如何を問わず、
知識、情報、データへの障壁なきアクセスを可
能にし、それらを活用し、新たな知識、情報、
データの生産を促す環境を提供することによっ
て、大学における教育研究の進展とともに社会
における知の共有や創出の実現に貢献する。

ハーバード大学図書館のミッション (2013)

The Harvard Library advances scholarship and teaching by committing itself to the creation, application, preservation and dissemination of knowledge.

ハーバード大学図書館のミッション (2020)

We are expert partners on the pathways to knowledge. We engage with our communities in the creation and sharing of new knowledge, connecting them with vast collections that we curate and steward with collaborators around the world. At its core, our mission is to advance the learning, research and pursuit of truth that are at the heart of Harvard.

各大学において、ビジョン2020の重点領域、目標を準拠枠として、それぞれの大学のミッション、中期目標などに沿ったアクションプランが作られ、それが実行に移されたか？

一方，協会は何をし，
国立大学図書館は全体として何
を達成できたのか？

価値の再発見あるいは再認識
+
新しい価値の創造